

公開シンポジウム「最終氷期以降の日本列島の気候・環境変動と人類の応答」

2023.6.11 オンライン（主催会場：島根大学）

主催：日本学術会議地球惑星科学委員会国際連携分科会、地球・人間圏分科会

現生人類がたどってきた道

海部陽介

東京大学総合研究博物館



最近の新たな発見

- 最終氷期前半のアジアの人類 → 驚くほど多様だった
- ホモ・サピエンス (= 私たち) の進化 → 意外に複雑だった
- ホモ・サピエンスのアジア進出 → 壮大なドラマがあった

人類史復元に必要ないくつかの視点

古人類学
(化石形態学)

遺伝学

考古学

古環境学
地理・気候・海洋
植生・動物相・

10万年前頃の世界

最終氷期前半
各地の環境に応答して
人類の多様化が起こっていた



ネアンデルタール人 デニソワ人?

中国の旧人

インドの旧人

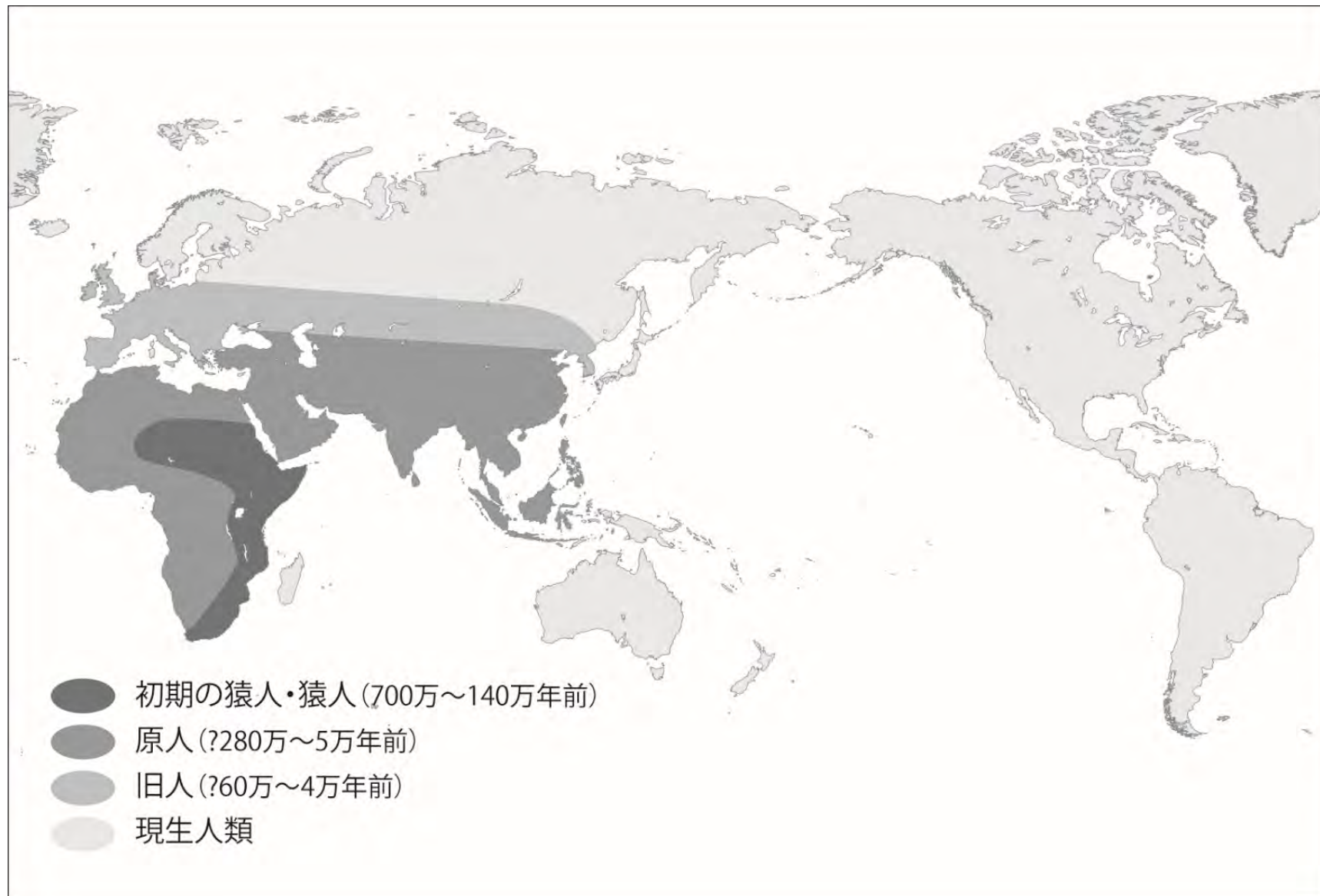
ホモ・サピエンス

澎湖人★

ルソン原人★

フローレス原人★

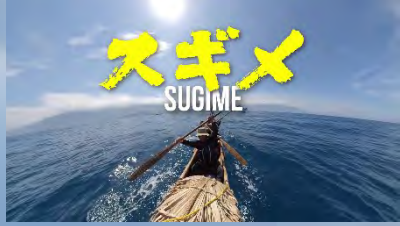
ジャワ原人★



実験航海について詳しくは

3万年前の航海

検索



国立科学博物館・国立台湾史前文化博物館

3万年前の航海 徹底再現プロジェクト

